

青少年委員長方針

小竹 真

委員会日：毎15日前後

＝委員会メンバー＝

副委員長：熊崎 聖児 村上 大知

運営幹事：鈴木 佑将

会計幹事：保母 陽伺

委員：加藤政太郎 可児将太郎 高瀬 和也 柘植 寛士

名城 仁志 馬場 康彰 松葉 大輔

<委員長方針>

現代の子どもを取り巻く環境を考えたとき、私たちの子どものときと比べ間接的に人と交流する機会は増えましたが、その反面、直接的に人と交流できる機会は減少してきているのではないのでしょうか。そのことが相手を思いやる心、感謝する心、多くの心の成長の妨げに繋がっていくと考えます。人は生きていく上で、一人では生きていけません。誰かを支え、また支えられながら生きています。だからこそ青少年期には、多くの人と交流する中で感受性を育み、人の心を察することができる大人へと成長していただくことが大切ではないのでしょうか。

本年度、青少年委員会では子どもが仲間と共に力を合わせ、様々な課題を乗り越えることで、相手を思いやる心、感謝の心を養える体験型の事業を展開してまいります。その経験をしていただくことが感受性豊かで、人の心を察することができる大人へと成長していただけると考えます。そしてメンバーには行政・学校・地域との情報共有を通して、地域の大人としての自覚を育んでいただきたいと思います。

OB交流会では、日頃より中津川青年会議所活動にご協力、ご支援いただいております特別会員の皆様に本年度の運動発信を報告し、今後も変わらぬご協力、ご支援をお願いしたいと考えます。また、メンバーには交流する中で、特別会員の皆様が青年会議所で活動してきた当時の事業の想いを聞き、メンバーも青年会議所活動を行う中で思うことを伝え、積極的に交流を図っていただける設えをしてまいります。

私は委員長として、一年間委員会メンバーを率いていく上で、メンバーが青年会議所活動に費やす時間を無駄にせず、意義のある時間を過ごしていただけるよう、事前に計画を立て委員会を運営してまいります。また、活動に費やす時間は、仕事・家族・友人との貴重な時間を割いていることを常に自覚し活動してまいります。委員会メンバーには、青年会

議所活動の中で一つでも多くの気付きや学びを持ち帰って会社や家族、今後の自分の人生の糧となるよう意識を持って積極的に活動していただきたい。

<事業計画>

- ・ 青少年育成の推進
- ・ OB交流会の開催

<事業予算>

- ・ 400,000円
- ・ 70,000円